

あきる野市立すぎの子保育園の新規入園児受け入れ停止に関する陳情

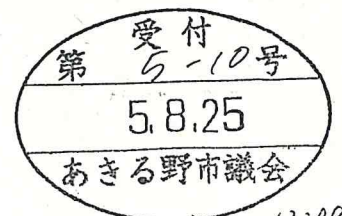
1 趣旨

令和5年8月17日、あきる野市子ども家庭部保育課長がすぎの子保育園を訪れ、令和6年4月1日入所園児から、園児の新規受け入れを停止する決定をしたことを、来年度以降も在園予定の園児の保護者に通知しました。この決定をするに至った経緯や事情について、それまで一切の説明はありませんでした。来年度からの園児の新規受け入れ停止が現実となれば、すぎの子保育園は数年後には在園児数がゼロとなり、閉園が確実となります。

あきる野市立すぎの子保育園は、戸倉・小宮地区をはじめ、旧五日市町の広範囲から園児の通う、地域の住民に愛されてきた公立保育園です。近年は在園児数が10名前後と低水準の状態が続いていたものの、小規模でアットホームな保育を望む保護者や、戸倉・小宮地区の豊かな自然環境の中で子どもを育てたい保護者、すぐにでも預け先を決めなければいけない保護者にとって、他に換えのない、貴重な受け皿となっています。かつてここに通った方々、今通っている子供たち、そして将来この地域で育つ子供たちにとって、地域を愛する原点ともなるような保育園です。

このような貴重な市民の財産であるすぎの子保育園を、地域住民、そして在園児の保護者にさえそれまでの経緯や事情を一度も説明することなく、突然、来年度以降の新規受け入れをやめ、段階的に閉園させるのは、保護者、そして地域住民として受け入れがたい決定です。この決定通知を受けた後、限られた短い時間内で保護者や卒園者の保護者、地域住民の意見を聞き取っただけでも、突然の決定通知に対する驚きと不安、すぎの子保育園の持つ唯一無二の価値、今後状況の改善を期待できる点などについて、数多くの意見が上がりました(資料1)。

さらに、公開されているあきる野市子ども・子育て会議の議事録のうち、二番目に新しい議事録(令和4年度第4回会議)では、事務局が「すぎの子保育園については、地理的にすぎの子保育園でなければ通えないご家庭や子どもが少ない園だから通わせたいという保護者もいます。また、すぎの子保育園は定員調整が必要な地域とは離れているので、令和7年度以降の検討としたいと考えています。」と答えており、市として令和7年度より前の定員調整をおこなう考えのないことが明記されています(資料2_p.6-7)。そして出席委員からは「移住者の方が五日市方面では増えているという話も聞いています。そういう意味では、す



ぎの子保育園というのは貴重な場所にあると思いますので、長期的な視点で考えてもらえると良いのではないかと思います。」(資料 2_p.11)、「すぎの子保育園の話も出てきましたが、～中略～そのときに、痛感したのは、拙速に事を運ぶのではなく、地域の皆さんに丁寧に説明をして、繰り返し繰り返しお話をして、納得まではいかないかもしれませんが、その必要性を理解していただいて、進めていくことが大事だということです。今度はそういうことが保育園で起きたときには、行政の方々にとっては重い仕事になるかと思いますが、丁寧に進めていただきたいと思います。」(資料 2_p.12-13)といった発言もあり、事前に当事者に何の説明もないまま令和 6 年 4 月からすぎの子保育園の園児の新規受け入れ停止を決定する合理的理由が見当たりません。

このような経緯から、あきる野市に、①令和 5 年 8 月 17 日に通知のあった、あきる野市立すぎの子保育園の来年度からの新規入園児受け入れ停止の決定を保留すること、②入園児の募集を続けると共に、保護者や地域住民と丁寧に話し合いを重ねながら、今後の保育園のあり方を検討することを求めます。

2 理由

決定の通知までに保護者や地域住民に一切の事情の説明がなかったこと、通知があってから新規受け入れ停止の適用日までの期間が短く急すぎることに、すぎの子保育園が地域の子供の貴重な受け入れ先となっており、保護者や地域住民から、その唯一無二の価値について数多くの意見があること。

令和 5 年 8 月 25 日

陳情者

住所 東京都あきる野市戸倉 885 番地

氏名 國分 瓦彦 外 182 名

あきる野市議会議長 村野 栄一 殿